

総合検診のお知らせ

健康福祉課健康係 ☎028 (677) 6042

中期(9月)の検診結果の送付

総合検診結果(特定健康診査(40~74歳含む))は、受診後1カ月ほどで通知します(国民健康保険以外の人の特定健康診査の結果は所属の健康保険組合から届きます)。

検診結果で精密検査が必要となったら

医療機関の受診をお勧めします(がん検診や、生活機能評価検診で機能低下があった場合など、説明の必要がある場合は、町保健師が電話連絡または直接お届けします)。また、検診結果の相談も行っています(保健センターで火・木曜日実施。要事前予約)。

特定健診結果が届いたら

健診結果で「積極的支援・動機づけ支援」に該当した人は、メタボリックシンドローム予防のため、特定保健指導(説明会)を受けることが必要です(芳賀町国民健康保険以外の人は、健康保険組合から特定保健指導の案内があります)。

※芳賀町の国民健康保険加入者が特定保健指導該当になった場合、次の日程の特定保健指導に参加していただきます。該当者には案内を郵送します。指定期日に都合が悪い場合は変更も可能です。ご相談ください。

総合検診受診日	特定保健指導期日		特定保健指導会場
	積極的支援該当者	動機づけ支援該当者	
9月5日(土)	10月13日(火)	10月22日(木)	保健センター
9月7日(月)	10月15日(木)		
9月8日(火)	10月16日(金)	10月23日(金)	
9月9日(水)	10月19日(月)		
9月11日(金)	10月20日(火)	10月30日(金)	
9月12日(土)	10月29日(木)		

スッキリ教室

町では、特定保健指導該当者(積極的支援・動機づけ支援)向けに各教室を実施しています。9月の教室では、ヘルシーマヨネーズ作りやおいしい減塩おつまみレシピ紹介などを実施し、楽しくメタボリックシンドロームの改善が出来るようにさまざまな内容を実施しました。11月にも実施しますので、該当する人は積極的に参加してみてください。詳しくは広報11月号に掲載します。※該当者以外も関心のある人は参加可能です(特定保健指導該当者優先)。



後期(11月)検診の受診票送付と追加申込受付

11月から後期日程が始まります。後期の検診受診予定者には受診票などの必要書類を検診の約1カ月前(10月ごろ)に郵送します。

また、検診の追加申込も受け付けていますので希望される場合はご連絡ください。

10月1日からスタート! 乳がん・子宮頸がん 無料クーポン券検診

日本のがん検診受診率を50%にあげることを目標に、国の今年度の補正予算で、女性特有のがん対策が実施されることになりました。具体的には下表の年齢の人を対象に「がん検診無料クーポン券」を配布します。がんの早期発見・早期治療のため、無料券の該当年齢以外の人も2年1度は検診を受けましょう。

健康福祉課健康係 ☎028 (677) 6042



無料クーポン券について
無料クーポン券対象年齢の人には、個別に案内状とクーポン券・健康手帳を送付します。詳しくは、同封する説明書をご覧ください。

がん検診受診方法

がん検診は、個別検診または総合(集団)検診のいずれかで受診できます。

総合(集団)検診
11月の各種検診と同一日時で受診ができますが、事前に健康福祉課への申し込みが必要です。

個別検診

指定医療機関で受診することができ、(無料クーポン券対象者のみ)。
※無料クーポン券対象者以外の人の子宮がん施設(個別)検診は、芳賀赤十字病院に委託し、12月から実施する予定です。

検診内容

子宮がん検診は、子宮頸部細胞診を行います。乳がん検診は視触診とマンモグラフィ(X線撮影)を行います。

無料クーポン券対象者

※前年度下記年齢の人

内容	年齢	生年月日
子宮頸がん検診	20歳	昭和63年4月2日~平成元年4月1日
	25歳	昭和58年4月2日~59年4月1日
	30歳	昭和53年4月2日~54年4月1日
	35歳	昭和48年4月2日~49年4月1日
	40歳	昭和43年4月2日~44年4月1日
乳がん検診	40歳	昭和43年4月2日~44年4月1日
	45歳	昭和38年4月2日~39年4月1日
	50歳	昭和33年4月2日~34年4月1日
	55歳	昭和28年4月2日~29年4月1日
	60歳	昭和23年4月2日~24年4月1日

無料クーポン券該当者で、今年度すでに受診している人は?
乳がんや子宮頸がん検診を毎年1回受診した場合も、年に複数回受診した場合も、医学的なメリットは変わらないとされています。

がんになったと知るのが怖いのですが:
がんは不治の病ではありません。全体で見れば、半分近くが治ると考えられます。早期がんなら、完治の可能性もぐっと高くなります。

20代、30代でがんになるのは、少数派なのでは?
子宮頸がんの原因は、ウイルス感染で、若い人に増えています。普通のがんは、年齢とともに増えますが、子宮頸がんのピークは30歳代後半です。早期がんでは症状は出ないので、検診が必要です。

がん検診の受診は、とても有効な「がんを命を落とさなための特効薬」です。